

株式会社クレディセゾン(8253) 2014年度4-9月期決算発表

ショッピング・キャッシング取扱高・残高拡大、ファイナンス事業拡大により
営業利益 225 億円(前年同期比 2.9%増)・四半期純利益 185 億円(同 5.0%増)

2014年度4-9月期は、『クレジットサービス事業』では、アウトレットや専門店等ショッピングセンター・スーパーや通信・旅行等のサービス分野でのカード利用が増加し、ショッピング取扱高は前年より8.0%増加しました。また、経費精算業務の省力化などビジネスをサポートする法人カードの提供により、企業における各種決済のキャッシュレス化に取り組んだ結果、法人カードにおける取扱高は、前年より21.8%増加しました。キャッシングは、利用活性施策の継続により、利用者が増加し、取扱高は前年より7.5%増加、残高も今年2月末より着実に増加しております。

『リース事業』では、主力提携販売店との共同キャンペーンの実施や取扱い商材拡充により、中小企業や個人事業主への販売が増加した結果、営業収益は前年より1.5%増加しました。

『ファイナンス事業』では、信用保証事業において、新たに地域金融機関等7先と提携し、提携先数375先へ拡大した結果、保証残高は前期末より6.7%増加し順調に伸張したほか、長期固定金利住宅ローン「フラット35」では、消費税増税の影響によりマーケット全体の取扱いが減少する中、貸出残高(住宅金融支援機構への債権譲渡済み残高)を着実に伸ばしています。また、「セゾンの資産形成ローン」では、高まる不動産投資ニーズに対応し、有力な提携先との連携により、取扱高・残高ともに大幅に拡大した結果、ファイナンス事業全体での営業収益は前年より18.2%増加し、ノンバンクとして事業基盤を堅調に拡大しております。

一方、今後の持続的成長に向けた顧客基盤拡大や事業の集中化に伴う先行投資を行い、**営業利益 225 億円(前年同期比 2.9%増)、経常利益 266 億円(同 2.6%減)となりました。以上の結果、四半期純利益は 185 億円(同 5.0%増)となりました。**

当連結会計年度のセグメント別業績概況は次の通りです。

1. 営業概況

(1) クレジットサービス事業

顧客基盤の拡大とカードの利用活性に取り組み、クレジットサービス事業の営業収益は 964 億円(前年同期比 2.8%増)、営業利益は 96 億円(同 3.2%減)

- ① ショッピングは、提携小売業と連携した利用活性プロモーションやリボルビング払い・ボーナス払いの利用促進、札幌・軽井沢・吉祥寺など全国各エリアでの地域活性キャンペーンの実施、公共料金や通信料金等、継続利用のあるカード決済化の推進により、取扱高1兆9,893億円(前年同期比8.0%増)、リボルビング残高2,813億円(前期末比5.0%増)と堅調に推移しました。
- ② キャッシングは、利用活性施策の継続により、取扱高1,455億円(前年同期比7.5%増)、残高2,451億円(前期末比0.1%増)と着実に増加しています。
- ③ 「セゾン・アメリカン・エクスプレス®・カード」の中でも高稼働・高単価が見込まれるプラチナ・ゴールドカードや提携小売業店舗を中心とした会員募集により、117万枚の新規カードを獲得しました。
- ④ ネット事業では、ネットを活用した収益力の強化として、有力なネット企業や新技術を有するベンチャー企業等と連携し、新規ネットビジネスの開発に取り組んでいます。また、7月よりカード会員向けスマートフォンアプリ「セゾン Portal」「UC Portal」の提供を開始し、ネットサービスの利便性向上を図り、ネット会員は1,059万人(前期末比6.4%増)に拡大しました。
- ⑤ 5月より、KDDI(株)、(株)ウェブマネーと連携し、「au WALLET カード」「MasterCard®プリペイド付き WebMoney Card」のカード発行など各種業務を受託、海外専用プリペイドカード「NEO MONEY」の取次ぎ金融機関の拡大等、国際ブランドプリペイドカードの推進を強化しました。

(2)リース事業

営業力の強化により、営業収益は 70 億円(前年同期比 1.5%増)、営業利益は 30 億円(同 7.9 %増)

- ① 主力提携販売店を中心に販売店の特性に応じた共同キャンペーンの実施や OA 機器や通信機器に加え、厨房機器など取扱い商材の拡充による営業を強化しました。

(3)ファイナンス事業

提携先との連携強化と商品の多様化により、営業収益は 107 億円(前年同期比 18.2%増)、営業利益は 60 億円(同 33.8%増)。ノンバンクとして事業基盤を着実に拡大

- ① 信用保証事業は、地域金融機関とのきめ細やかな連携に努めた結果、新たに地域金融機関等 7 先と提携し、提携先数 375 先(前年同期差 15 先増)へ拡大し、保証残高は 2,454 億円(前期末比 6.7%増)と堅調に増加しました。
- ② 長期固定金利住宅ローン「フラット 35」は、取次ぎ店等との営業連携を強化し、消費税増税の影響によりマーケット全体の取扱高が前年を下回る中、実行件数 1,066 件(前年同期比 0.5%増)、実行金額 295 億円(前年同期比 0.3%増)、貸出残高(住宅金融支援機構への債権譲渡済み残高)2,536 億円(前期末比 16.0%増)に拡大しました。
- ③ 2013 年より販売を開始した「セゾンの資産形成ローン」は、有力な提携先との連携強化により、実行金額 162 億円(前年同期比 74.2%増)、貸出残高 476 億円(前期末比 49.3%増)と大幅に拡大しました。

(4)不動産関連事業

連結子会社(株)アトリウムにおいては、不動産市況の回復や積極的な営業活動により、順調に推移しております。また、整理事業における開発案件の早期資産圧縮にも取り組んでおります。

2. 経常利益・純利益概況

今後の持続的成長に向けた顧客基盤拡大や事業の集中化に伴う先行投資を行った結果、**営業利益 225 億円(前年同期比 2.9%増)、経常利益 266 億円(同 2.6%減)となりました。以上の結果、四半期純利益は 185 億円(同 5.0%増)となりました。**

3. 2014 年度通期業績予想の修正

2014 年度通期業績予想につきましては、当第 2 四半期累計期間までの当社グループの業績および経営環境を踏まえ、5 月 14 日に公表しました予想を以下の通り修正しております。

<2014 年度通期 連結業績予想>

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	253,000	34,000	40,000	23,000	125.25
今回修正予想(B)	256,000	42,000	49,000	32,000	174.26
増減額(B-A)	3,000	8,000	9,000	9,000	-
増減率(%)	1.2	23.5	22.5	39.1	-
(参考)前期実績 (2014 年 3 月期)	247,577	36,336	44,408	25,552	139.14

<2014 年度通期 単体業績予想>

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	212,500	30,500	34,000	17,500	95.26
今回修正予想(B)	217,000	37,650	40,800	25,000	136.08
増減額(B-A)	4,500	7,150	6,800	7,500	-
増減率(%)	2.1	23.4	20.0	42.9	-
(参考)前期実績 (2014 年 3 月期)	205,873	29,826	34,872	18,637	101.45

(ご参考)

2014 年度 4-9 月期の単体業績

(1)新規カード開拓枚数	:	149 万枚	(前年同期比 15.6%減)
(2)新規カード発行枚数	:	117 万枚	(前年同期比 8.0%減)
(3)カード総会員数	:	2,480 万人	(前期末からの純増数 5 万人)
(4)稼働会員数	:	1,446 万人	(前期末からの純増数 26 万人)
(5)稼働率	:	58.3%	(前期末から 0.2%増)
(6)カードショッピング取扱高	:	1 兆 9,893 億円	(前年同期比 8.0%増)
(7)カードショッピングリボ残高	:	2,813 億円	(前期末比 5.0%増)
(8)カードキャッシング取扱高	:	1,398 億円	(前年同期比 7.1%増)
(9)カードキャッシング残高	:	2,200 億円	(前期末比 0.6%増)
(10)営業収益	:	1,062 億円	(前年同期比 5.0%増)
(11)経常利益	:	219 億円	(前年同期比 8.5%増)
(12)当期純利益	:	135 億円	(前年同期比 14.2%増)